

事務事業名		文化財整備普及事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業				
政策体系	政策名	03 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目				
	施策名	18 地域の歴史・文化資源の継承				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 文化財の保存と活用				01	10	05	02	15
根拠法令		文化財保護法、県・市文化財保護条例		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)		事務事業区分				
部課名		教育委員会事務局生涯学習課								
課長名		江刺 雄輝				A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)				
所属	係名	文化財係	電話	27-3111	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入					
	担当者	佐藤 博崇	内線	273						
	事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		全体計画(※期間限定複数年度のみ)							
・文化財の整備と普及を行う事業 ・事業内容は①文化財解説パンフレットの編集、②文化財説明看板の設置・更新、③大船渡の三面椿見学者用トイレ維持管理、④地域の特色ある埋蔵文化財活用事業(国庫補助事業)である ・事業費はパンフレット作成費、看板修繕、文化財めぐり、縄文土器製作会等に支出される		総投入量(千円)		事業内訳		国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0				
		人件費		正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0			トータルコスト(A)+(B) 0			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
文化財解説パンフレットの配布・補充、文化財説明看板の更新、三面椿見学者用トイレの維持管理		ア	看板等設置・修繕箇所数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	文化財普及イベントの開催回数
文化財解説パンフレットの配布・補充、文化財説明看板の更新、三面椿見学者用トイレの維持管理、文化財めぐり、縄文土器製作会、縄文人骨展		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
指定文化財、市民		名称	
		単位	
		カ	指定文化財数
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
市内の文化財を普及・活用する		名称	
		単位	
		サ	国指定3史跡パンフレットの配布数
		シ	各種イベント参加者の満足度
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
文化財が保存・活用される			

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円			1,000	1,000	1,000	1,000
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	492	440	1,357	1,357	1,357	1,357
		事業費計(A)	千円	492	440	2,357	2,357	2,357	2,357
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	5	5	5	5
		延べ業務時間	時間	600	600	600	600	600	600
		人件費計(B)	千円	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
		トータルコスト(A)+(B)	千円	2,892	2,840	4,757	4,757	4,757	4,757
⑤ 活動指標		ア	箇所	1	1	5	3	3	3
		イ	回	1	1	3	3	3	3
		ウ							
⑥ 対象指標		カ	件	87	87	87	87	87	87
		キ							
		ク							
⑦ 成果指標		サ	部	798	276	500	500	500	500
		シ	%	—	—	70	70	70	70
		ス							

事務事業ID	0850	事務事業名	文化財整備普及事業
--------	------	-------	-----------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和25年文化財保護法、昭和32年県文化財保護条例、昭和35年市文化財保護条例の施行後、文化財の普及・活用を図るために始められた。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	文化財の保護に係る認識が、一般に広く浸透してきており、関心が徐々に高まっている。 特に近年は国や県で文化財の活用を推進している。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	一部の指定文化財において、所有者から保存・保護への助成について求められている。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつか？意図することが結果に結びついているか？ 文化財の整備普及が図られることは、地域文化財の伝承に繋がる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 文化財保護法、県・市文化財保護条例で、公共の関与が示されているため。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 特に重要なものを指定文化財としているため、対象は適切である。ただし、今後の調査研究により、新たに文化財指定されることがある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 震災後は埋蔵文化財の保存を優先してきたが、今後は埋蔵文化財の活用を図ることで、市民の文化財に対する理解を深める。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 文化財の普及・活用する機会がなくなる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 文化財の整備・普及に係る費用として適切である。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 文化財の活用を図るための必要最低限の人員である。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 文化財を一般に公開し、イベントに参加する市民からは材料費等の実費を徴収するなど、公平・公正である。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			●																		
	維持			×																		
	低下		×	×																		
国庫補助事業「地域の特色を活かした埋蔵文化財活用事業」を活用し、文化財看板の更新や整備普及事業を効率的に実施する。																						

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	国の補助金等を有効に活用して必要な整備が行われている。観光振興やまちづくりに文化財を有効に活用していくための取組が求められている。